

○議長（小川 廣康君） 暫時休憩します。再開を2時ちょうどといたします。

午後1時43分休憩

-----

午後1時59分再開

○議長（小川 廣康君） 再開します。

引き続き市政一般質問を行います。

1番、坂本充弘君。

○議員（1番 坂本 充弘君） こんにちは。1番議員、新政会の坂本充弘でございます。本日最後の質問者でございます。よろしくお願いいたします。

質問に入ります前に、去る10月31日未明、40日前になりますけれども、沖縄県のシンボル首里城の正殿ほか隣接建造物が焼失いたしました。折しも、行政視察最終日の早朝でした。ホテルのロビーに集合すると、炎上している首里城が報道されていました。既に政府も再建に向けて検討されているようでございますが、1日も早い復元が実現するよう祈念いたしますとともに、日本各地で発生している災害により被災されました皆様、お亡くなりになられました方々に対しまして、改めて心からお見舞いを申し上げます。あわせて、1日も早い復旧を祈念申し上げます。

それでは、通告に従い、質問に入らせていただきます。

1件目は、漁業振興対策について。

2件目は、街灯の設置について。

3件目は、交通安全対策についてでございます。

以上、3件についてお尋ねをいたします。

1件目の漁業振興対策についてでございますが、これは昨日、上野議員のほうからもありましたので、少し重複するところがございますが御勘弁をお願いしたいと思います。

御承知のように、対馬の漁業水揚げ高は衰退の一途をたどっております。ここ数年間の漁獲量の資料をいただきました。この資料によりますと、年度ではなく、1月から12月までの年になってはいますが、市長が就任されました平成28年を基準年にしております。内容を少し紹介させていただきます。

平成27年は、海面漁業・養殖業合わせて、1万7,425トン、約166億5,400万円の取扱高でした。

平成28年は1万5,060トン、平成27年の86%、金額は、約154億8,700万円、平成27年の93%になります。

平成29年は1万4,207トン、平成27年の82%、金額は、約156億7,100万円、平成27年の94%になります。

平成30年は1万3,594トン、平成27年の78%、金額は、約146億5,700万円、平成27年の87%になります。

ことし令和元年は、10月末現在ではございますが、8,465トン、平成27年の49%、金額は、約104億6,700万円、平成27年の63%になります。

令和元年は、11月と12月を足せば、もう少し上積みになると思います。

漁業種類別の中では、最も落ち込んでいるのがイカ釣り漁業で、平成27年は4,617トン、平成28年は2,734トン、平成27年の約59%。平成29年は2,430トン、平成27年の53%。平成30年は1,825トン、平成27年の約40%。令和元年は、10月末現在ではございますが、1,224トン、平成27年の約27%となっております。もう3割を切っているわけです。

はえ縄漁業は、平成27年が2,219トン、平成28年は1,957トン、平成27年の約88%。平成29年は1,715トン、平成27年の77%。平成30年は1,212トン、平成27年の約55%と半減しております。

また、採藻業では、平成27年が123.4トン、平成28年は106.3トン、平成27年の約86%。平成29年は96トン、平成27年の78%。平成30年は44.5トン、平成27年の約36%となっております。

養殖業の中で落ち込んでいるのが真珠養殖業で、平成27年は5.7トン、平成28年は5.3トン、平成27年の約93%。平成29年は1.3トン、平成27年の23%。平成30年は1.7トン、平成27年の約30%、3分の1に減っております。

このように、漁業種類別だけを見ますと横ばいの業種もありますが、全体的にはこのように下降線をたどる一方です。ことしの壱岐・対馬の漁獲量は前年比の六、七割程度に減少していると言われております。クロマグロ漁にしても、国際的な漁獲規制により進展していく可能性もなく、厳しい状況が続いています。現在、水産業界関係に対するいろいろな補助金や漁礁設置による漁場の開発、藻場の増殖、午前中にも小島議員のほうから質問がありましたけれども、食害魚の駆除の対策、その他、市長におかれましては、就任以来いろいろと漁業振興対策についてやっただいているところではあります。この4年間の漁業振興対策についての取り組み状況と今後の振興対策についての見解をお伺いいたします。

2件目は、街灯の設置についてでございます。

上対馬町に東横INN対馬比田勝が9月10日オープンしました。

現在、日韓関係が冷え込み、今夏からは、韓国人観光客が激減したのは御承知のとおりです。その後、民間団体などの努力もあり、11月下旬になると少しずつではあります。ふえてきているようにもあります。

現在、日没が早くなってきたために、5時ごろになりますと薄暗くなってきました。そのような中で、泉トンネルの三差路から三宇田の東横I NNへスーツケースを引いて歩いて向かうお客さんがいたそうでございます。東横I NNホテルには送迎の車もあるようですが、その送迎車があるのを知らなかったのか、暗い中を歩いていたということでございます。

この西泊から殿崎・三宇田方面、そして、泉トンネルの三差路から三宇田方面に向かう、この道路につきましては、ウォーキングコースとして市民によく利用されているところでもございます。このような中で、やっぱり真っ暗な状態というのは今よくないと思います。三宇田には東横I NNができる前からペンションも建設されておりまして、東横I NNがオープンしたことで、常時人がいる場所になっております。できるだけ早いうちに、まず、泉トンネルの三差路方面から三宇田ぐらまで、街灯または防犯灯の設置をするべきではないかと思いますが、市長のお考えをお尋ねしたいと思います。

3件目は、交通安全対策についてでございます。交通安全対策といっても、ちょっとタイトルが大きいのですが、今回は道路標示と白線についてお尋ねをしたいと思います。

道路標示や白線が消えてわからなくなっているところが多々あります。特に雨の日の状況になりますと、ラインがわかりづらく、ヘッドライトを点灯していても暗い感じがして、対向車があるときには、センターラインが見えにくいときはとても危険です。私も何回かびっくりするような状況に遭遇したことがございます。韓国人観光客が多かったときには、事故もそれなりに多かったようでございますが、今は、まだ少ないようですけれども、今後徐々にふえてくるとは思います。

ラインの補修については、計画を立てて修復をしていくようにされているとは思いますが、いま一度、点検をしていただいて、消えているところは早急に対処をしていただきたいと思っております。

小鹿トンネルの先のほうで事故がありましたけれども、その後に道路標示が加わりまして、危険な状況でスローになるように表示がされております。このように、すぐ、ドライバーにわかるようにしていただいたら、おのずと交通事故も減ってくるのではないかと考えております。

以上の3件について、市長のお考えをお伺いいたします。どうぞよろしくお願いたします。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 坂本議員の御質問にお答えいたします。

初めに、漁業振興対策についてでございますが、近年における水産業の現状については、漁獲量は先ほどの坂本議員の説明どおり減少傾向にあり、特に今年度については、イカの不漁が顕著であることから、大変厳しい状況であると考えております。

対馬市における水産業を取り巻く現状は、漁業者の高齢化、後継者不足、漁獲量の低迷、藻場

の消失と明るい兆しが見えない中で、明確な打開策が見出せない厳しい状況ではありますが、対馬市にとりまして、水産業の振興は重点施策であり、喫緊の課題であると認識していることから、地元要望に迅速にこたえるべく、さまざまな施策を講じているところでございます。

国及び県の補助による事業の有効活用はもとより、対馬市独自の支援策として、後継者育成のための対馬市漁業あとり育成事業や対馬市競争力強化型機器導入緊急対策事業を実施しているところでございます。

また、その他各種団体への補助金等により、円滑な事業遂行への支援もあわせて行っております。今後の漁業振興対策としましては、補助事業につきましては、事業内容の拡充、新規補助事業の創設と支援内容の充実が図られており、国の予算編成方針も資源管理を重視する方向で議論されていると聞いております。

そのような中で、クロマグロの漁獲規制によるイカの漁獲減少への影響が各地で議論されておりまして、国も因果関係について調査するとの見解が示されておりますので、今後の動向を見ながら、マグロ漁獲量の増額や支援策の拡充について、国や県への要望を継続して実施してまいりたいと考えております。

また、クロマグロの資源管理対策としては、漁船漁業や定置網漁業への混獲回避の取り組みに対する支援も拡充されており、混獲回避機器の導入、漁具の改良経費、放流事業への人件費と資源管理とあわせて、安定的な操業の確保につながる内容に移行しているところでございます。

今後の取り組みとして、藻食性魚類の駆除から流通、加工、販売に至る体制の確立を図り、未利用魚から付加価値のある重要な資源としての利活用の促進と種苗放流やヒジキ等の海藻養殖による藻場再生への取り組みを加速させるとともに、資源確保や増殖効果増大への取り組みとして、国直轄によるフロンティア漁場整備事業の実施、その近隣海域における長崎県及び対馬市による漁場整備事業等のハード事業の有効活用により一体的な漁場整備を図り、資源の回復や効率のよい操業の推進に努めてまいります。

また、水産物の輸送コスト助成事業につきましても、継続することで漁業者の負担軽減を図り、競争力のある魅力的な水産業の振興に努めたいと考えているところでございます。

次に、2点目の街灯の設置についてでございますが、三宇田浜周辺は、外国人観光客の増加に伴い、ホテルやペンション等の進出が相次ぎ、多くの観光客が周辺道路を散策したり、サイクリングなどを楽しむ姿が見られているところでございます。また、地域の方々のウォーキングコースとしての利用も多い場所でございます。

議員御指摘のとおり、泉トンネル口から三宇田浜に通じる市道三宇田線は観光客が多い通りにもかかわらず、防犯灯がなく、また民家もないことから、夜になるとかなり暗いことは認識しております。このため、防犯面からも交通安全の面からも、安心して安全に歩くことができるよう

に、来年度、防犯灯の設置工事を予定しているところであります。

今後も地元住民はもとより、観光で訪れた方々が安心して利用できる安心安全のまちづくりに取り組んでまいりたいと考えております。

最後に、交通安全対策についてでございますが、道路の交通安全対策につきましては、日々のパトロールや定期点検による異常個所の早期発見と速やかな補修を行い、適切な安全管理に努めております。しかしながら、区画線につきましては、早々に対応できていないところがあるのも事実でございます。議員のお尋ねは、市道堂坂線だと思いますけども、供用開始から数十年を経過していることもありまして、区画線の大半が劣化し、消えている状況であったため、今年度から3カ年計画で補修を実施しております。

なお、区画線の路面標示は、交通の安全と円滑な誘導を確保するため必要なものであると考えておりまして、引き続き適切な維持管理に努めてまいり所存であります。

以上でございます。

○議長（小川 廣康君） 1番、坂本充弘君。

○議員（1番 坂本 充弘君） まず、振興対策でございますけれども、昨日の上野議員が質問された内容と一緒になるかもわかりませんが、あえて言わせていただきたいと思っております。

まず、現在対馬の漁業協同組合が12組合ありますけれども、まだ、合併には至ってなくて、組合長会が取りまとめをして、いろいろ上部団体にも申請をしているような状況ではございます。その中で、形態が漁業協同組合、みんな違いますので、一概には言えませんけれども、この一本釣りを主体とする漁協、それと、はえ縄を主体とする漁協、ほかにも刺し網を主体とする漁協、いろいろあると思います。その中で、漁船のエンジンの機関換装、これも補助をしている状況ではございますけれども、漁民の話を聞くところによりますと、なかなか順番に回ってこないというような話も聞くわけですから、それで、少しでも早く、そういう漁民の声を的確に捉えて、早く実現できるような体制ですか、そういうことができないか、もう少し、船外機船にしても、大型船にしても、できるように努力をしていただきたいと思うんですけれども、その辺の補助策についてはいかがでしょうか。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 議員が御指摘の競争力強化型の機器導入事業でございますけれども、これが機関換装等に当たる事業でございますが、補正のほうでも、希望者を募って、私が聞いている段階では、ほぼ申請どおりの交付ができたというふうに聞いております。

○議長（小川 廣康君） 1番、坂本充弘君。

○議員（1番 坂本 充弘君） ありがとうございます。私も、これは、ようやくできた人の話を聞いたもんですから、その前にちょっと聞いていたもんですから、一応言わせていただきました。

それと、今、前回もちょっと聞いたんですけども、クロマグロの件なんですけれども、この規制がある以上、なかなかクロマグロの漁ができないということで承知はしているんですけども、今、国の規制の状況がどのような状態に今なっているのか。新聞等の報道を見ますと、水産庁も一所懸命会議の中で主張はしているものの、なかなか進んでいないと、増頭もなかなかあっていないというような状況でございますけれども、国から県に話が来たり、県のほうから、また市のほうにも来るとは思いますけれども、現状はどのような状況になっているのか、わかる範囲で教えてください。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 私も、今、詳しいことは、ちょっとわかっておりませんが、このマグロの増枠等につきましては、日本からは増枠ということで申請をしてきたけども、国際的な会議の中で、アメリカ等の反対によって、ことしは、それが実現ができなかったということ、私も、新聞やら、また、そして、水産庁の機関紙等で聞いておりました。そして、また、それができなかったということで、ことしは台湾から幾らかの枠をいただいているというようなことが報道をされておりました。その中で、全国が今第5管理期間の中で、3,228トンというふうになっておりますけども、そのうちの対馬が30キロ以上そして30キロ未満、合わせまして、348.3トンということで、全国比で、10.8%が対馬に割り当てられているといったような状況となっております。

もう少し詳しい状況は、部長のほうで、部長のほうに答弁させていただきます。

○議長（小川 廣康君） 農林水産部長、佐々木雅仁君。

○農林水産部長（佐々木雅仁君） 坂本議員の御質問にお答えいたします。

先ほど市長も申しましたとおり、マグロの件につきましては、増枠というのは認められてないんですけども、来年度につきましては、台湾からの移譲で約300トンが移譲されるという予定でございます。その案が認められた場合、若干大型魚については増量ができると。小型魚については、ほとんど余り変わらないという状況でございます。

以上でございます。

○議長（小川 廣康君） 1番、坂本充弘君。

○議員（1番 坂本 充弘君） ありがとうございます。

台湾のほうから、こういうように割り当てをいただけるということで、大型のほうに限っているとは言われて、小型のほうに増頭がないのがちょっと残念ではありますけれども、このマグロの規制をするに当たって、先ほど市長も言うていただけたように、小型魚の漁師さんが沿岸漁業の魚が少なくなっているんです。そういう因果関係がかなりあるのではないかと思います。毎年毎年、漁が減っておりますので、この先、本当に心配でたまりません。市長の水産の振興計画で

もしい答弁をいただいておりますけれども、これ以上に組合長会の話も十分聞いていただいて、水産振興に全力で取り組んでいただきたいと思います。

新規にできる補助も先ほどあるようなことを言っておられましたけれども、もう少し詳しい話を聞かせていただけるならお願いしたいと思うんですけど、わかりますか。新規事業について。

(発言する者あり) 新規事業が入ってくると、先ほど言われなかったですか。(発言する者あり) 私の聞き違いやったですか。

○議長(小川 廣康君) 坂本議員、さっきの答弁の中で、新規事業という言葉が出たから、その内容についてわかればということですか。

○議員(1番 坂本 充弘君) はい。

○議長(小川 廣康君) 市長、比田勝尚喜君。

○市長(比田勝尚喜君) 済みません、どうも。先ほど確かに新規補助事業の創設と支援内容の充実が図られているというふうに述べさせていただいております。

ここの詳しいことにつきましては、ちょっと、また、後からでも御報告をさせていただければというふうに思います。申しわけございません。

○議長(小川 廣康君) 1番、坂本充弘君。

○議員(1番 坂本 充弘君) わかりました。また、わかり次第、そしたら教えていただければ、もう、それで結構です。

それでは、今後ますます水産振興対策について、市長のほうには全力で取り組んでいただきたいと思います。よろしく願いいたします。

今度は2件目の街灯の設置でございますけれども、これも来年の計画を予定しているということとを答弁をいただきましたので安心しております。それで、できるだけ早い段階で、実施されるように要望としてお願いをしておきます。よろしく願いいたします。

今のところは、ちょっとわからないかもわかりませんが、大体、あの区間1キロぐらいあるとは思いますが、何灯くらい設置できるようになるか、大体計画的にわかりますか。

○議長(小川 廣康君) 市長、比田勝尚喜君。

○市長(比田勝尚喜君) 今の現時点の計画では、約900メートル、30メートル置きということで、約30基を計画しているところでございます。

○議長(小川 廣康君) 1番、坂本充弘君。

○議員(1番 坂本 充弘君) わかりました。これで、来年度、設置していただければ、安心して通行ができるようになってくると思います。よろしく願いいたします。

3件目の交通安全対策についてでございますけれども、これも、できるだけ早い時点で、完全に消えているところがあるわけです。やっぱり、白線があると安心して通行できますので、点検

をよくしていただいて、消えているところから、やっていっていただきたいと思います。

それから、ラインだけじゃなくて、カーブミラーも少し悪いところがありますので、昔のやつは白く鏡面が曇っているやつがあるんです。見えないやつがあるんです。そういうやつも、ちょっと取りかえていただけたらなと思っております。安心して、カーブなんかのところでも交差ができるようにしていただけたらなと思います。点検をして、交換していただけるようによろしくをお願いします。

総括的に市長の今後の計画、もう一度、お願いしたいと思います。よろしくをお願いします。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） この交通安全対策については、市内全ての市道等におきまして、今後も十分な調査をした上で、できる限り実施をしてみたいというふうに思っておりますけども、ただ、予算の関係上もございますので、調査の上、緊急を要する場所から、順次実施をしてみたいというふうに考えております。

以上です。

○議長（小川 廣康君） 1番、坂本充弘君。

○議員（1番 坂本 充弘君） ありがとうございます。これで、きょうの私の質問を終わらせていただきます。どうもありがとうございました。

---

○議長（小川 廣康君） 以上で、本日予定しておりました市政一般質問は終わりました。

あすも引き続き定刻から市政一般質問を行います。

本日はこれで散会とします。お疲れさまでした。

午後2時38分散会

---